

報道関係者各位

サクソバンク 2023年第2四半期予想を発表 ～日本円が今後数年間で大きく上昇する可能性がある予想～

サクソバンク(Saxo Bank A/S)は、当グループ会社のアナリストチームによる2023年第2四半期の予想を発表しました。今回のテーマは、非グローバル化が加速する中で経済や地政学的リスクを巡り激化する国際競争を意味する「分断化ゲーム」です。当予想では、各国がエネルギー等の重要資源やサプライチェーン、ならびに半導体を中心とするIT技術の国際競争力の確保だけでなく、いかに欧米諸国の支配からシフトし、新たな同盟関係を築く必要に迫られているかを考察し、今後の展望を探ります。



2023年第2四半期予想

<https://www.home.saxo/ja-jp/insights/news-and-research/thought-leadership/quarterly-outlook>

注目は[日本円について](#)です。実質長期金利の低下やマイナス金利の見通しが市場全体に定着すれば、日本円の圧力がある程度緩和することができる可能性がある予想されます。日本の投資家は、他国の実質金利利回りが満足できない場合、膨大な貯蓄の一部を本国へ送還する可能性があります。その場合、**日本円は今後数年間で大きく上昇する可能性があります。**

また、[コモディティ](#)は引き続き主要な資産クラスとなっています。

ブレント原油は、第1四半期の大半において80ドル台で取引されましたが、銀行危機と景気後退懸念の高まりを受けて投資家がエクスポージャーの削減に急いだため、70ドルまで大きく下落しました。この結果、第2四半期は予想を下回る水準で取引を開始しました。今後は欧米の景気後退懸念の高まりが、中国の需要が持続的かつ堅調に回復しているプラスの影響を打ち消すものと予想されるため、**ブレント原油が第2四半期中に90ドルを上回る可能性は限定的であると予想します。**

2023年第2四半期予想のトピック

「分断化ゲーム」と金融不安を巡る市場リスクの高まり

戦略的かつ機動的な投資を行うことは、かつてないほど重要になっています。世界が分断化され、一部で非グローバル化が進むことによって、サプライチェーンを確保するために新たな生産拠点が整備され、その結果としてグリーン・トランスフォーメーションのように巨額の投資をもたらす可能性もあるでしょう。一方、分断化によって一部で過剰生産による損失が生じる場合もあるかもしれません。担当：スティーン・ヤコブセン

分断化ゲームにおける中国の戦略

本稿では、市場や資源へのアクセスを確保するためにグローバル化を取り入れながら、同盟関係やブロック経済の構築を追求する中国の戦略に注目します。中国は、二国間協定や地域経済エコシステムの確立することによってその勢力を拡大し、自らの地位を守ることを積極的に追い求めています。担当：レドモンド・ウォン

金利上昇後の新たな世界

高まる米景気後退リスクについて、私たちは米国の景気後退を基本シナリオとするには時期尚早だと考えています。しかし、こうした新たな動きは、来るべきリセッションの時期を急速に前倒しさせるリスクを孕んでいます。当グループの見解としては、銀行の破綻が広がるリスクは低いと考えています。しかし、市場参加者は、拡大する市場ストレスが貸出状況全体に与える影響、特に商業用不動産に関する中小銀行の根深く広がる構造的な脆弱性に留意する必要があります。これは、米国で見過ごされてきた大きな問題であると言えます。担当：クリストフ・ダンビ

株式市場：未知なる世界へ

「分断化ゲーム」とは、エネルギー、技術、防衛へのアクセス強化を競う諸国家間の地政学的ダイナミクスです。電動化とグリーン・トランスフォーメーションは、エネルギー供給の自立に向けた直接的な戦略であり、特にウクライナ侵攻後は、あらゆる国家にとって明らかに重要な競争要因となっています。グリーン・トランスフォーメーションは、リチウムや銅などの金属、電気事業や太陽光発電に関連するあらゆる製品やサービスのほか、エネルギー貯蔵システムの成長にもポジティブな影響をもたらすでしょう。担当：ピーター・ガンリュウ

混乱の中で投資機会を提供するインド・東南アジア市場

韓国と台湾の北アジア株式および日本の銀行株は、米国の銀行セクターのストレスからの波及リスクに直面する可能性があります。また、輸出主導型である韓国や台湾の株式は、世界的な需要鈍化からより大きな逆風にさらされる可能性があります。一方、安全資産である日本円の上昇は、世界的な成長見通しの鈍化とともに日本株全体の見通しを悪化させる可能性があります。しかし、植田日銀新総裁による金融政策の微調整は今後も注目を集めるでしょう。担当：チャル・チャナナ

株式市場の混乱からロングポジションを守るには

ここ数週間で起こったシリコン・バレー銀行の破綻やクレディ・スويسをめぐる緊張の高まりを背景に、株式市場の混乱は激しさを増しています。こうした状況において、期待と恐怖の間を行き来している投資家は、自らのポートフォリオを守る方法を探ることになります。市場が予想以上に早く回復する可能性もあるため、アップサイドを狙いつつリスクを低減する方法として、オプションのカラー取引を活用する方法を紹介します。担当：ハンス・オウツフルン

コモディティ市場：先進国を凌駕する新興国市場

コモディティは2022年に最も注目を集めた市場のひとつでしたが、引き続き主要な資産クラスとなっています。今後も投資不足（銀行危機によって回復は見込めない）、中国経済の回復シナリオ、各国政府のエネルギー転換への政策支援、インフラ投資のリバウンド、および気候変動リスクが複数の主要商品の需給逼迫をもたらす、商品相場の上昇をけん引するものと予想されます。担当：オール・ハンセン

為替：インフレ終息前の利上げサイクル終了が意味するものとは

第2四半期は、日本円にとって新たな時代の幕開けとなるでしょう。黒田東彦日本銀行総裁が4月に10年間の任期を終えて退任するだけでなく、他の中央銀行が、たとえ名目利回り水準は異なるにしても、日銀の政策に倣う方向に必然的にシフトする可能性があるためです。当グループの予想通りに実質長期金利（名目ではなく）の低下やマイナス金利の見通しが市場全体に定着すれば、日本円の圧力がある程度緩和することができるかもしれません。日本の投資家は、他国の実質金利利回りが満足できない場合、膨大な貯蓄の一部を本国へ送還する可能性があります。その場合、日本円は今後数年間で大きく上昇する可能性があり、CPI調整後の日本円実質実効為替レート指数では、おそらく10～15%程度上昇するものと予想されます。担当：ジョン・ハーディ

サクソバンク (Saxo Bank A/S) について

1992年に設立されたサクソバンク (Saxo Bank A/S) は、オンライントレーディングのリーディングカンパニーとして積極的なIT投資を行い、テクノロジーに注力してきた金融機関です。デンマーク金融監督庁の認可を受け、同国コペンハーゲンに本社を置き、現在ではロンドン、アムステルダム、シンガポール、上海、香港、シドニー、東京、パリ、チューリッヒ、ドバイなど、世界中の金融センターに2,500人以上の従業員がいます。サクソバンクの取引・投資プラットフォームは世界180カ国以上の顧客やパートナーに70,000以上の商品を提供しています。

サクソバンク証券株式会社について

サクソバンク証券株式会社は2006年に設立され、サクソバンク (Saxo Bank A/S) の100%子会社であり、金融庁の認可を受けたオンライン証券会社です。150種類以上の通貨ペアを提供する外国為替証拠金 (FX)、9,000銘柄以上を取り扱うCFD、米国・欧州・中国をはじめとする11,000銘柄以上を取り扱う外国株式など多彩な商品を競争力のある取引手数料で提供しています。より詳しい情報はホームページをご覧ください。

<https://www.home.saxo/jp>

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第239号、商品先物取引業者

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー22F

加入団体：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本投資者保護基金、日本商品先物取引協会

【ご留意事項】

- 当予測は、サクソバンクグループのアナリストによるマーケット分析レポートの転載、もしくは外部のアナリストからの寄稿となっております。
- 当予測は、いずれも情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当予測は、作成時点において執筆者またはサクソバンク証券（以下「当社」）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいていますが、執筆者または当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。当資料の利用により生じた損害についても、執筆者または当社は責任を負いません。
- 当予測で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これら意見はあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- 当予測に記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。
- 当予測の全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。
- 上記のほか、当予測の閲覧・ご利用に関する「[免責事項](#)」をご確認ください。
- 当社が提供するデリバティブ取引は、為替相場、有価証券の価格や指数、貴金属その他の商品相場または金利等の変動によって損失を生じるおそれがあります。また、お預けいただく証拠金額に比べてお取引可能な金額が大きいため、その損失は、預託された証拠金の額を上回る恐れがあります。
- 当社が提供する外国証券取引は、買付け時に比べて売付け時に、価格が下がっている場合や円高になっている場合に損失が発生します。手数料については、「取引金額×一定料率」又は「取引数量×一定金額」で求めた手数料が一回の取引ごとに課金されます。ただし手数料の合計額が当社の定める最低手数料に満たない場合は、手数料に代えて最低手数料を徴収させていただきます。また取引所手数料等の追加費用がかかる場合があります。
- 取引にあたっては、取引説明書および取引約款を熟読し十分に仕組みやリスクをご理解いただき、発注前に取引画面で手数料等を確認のうえ、ご自身の判断にてお取引をお願いいたします。
- 当社でのお取引にかかるリスクやコスト等については、[こちら](#)も必ずご確認ください。